広報 いずみざき

村づくり五原則
一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

昭和61年11月1日発行　（第232号）　編集・泉崎村役場総務課　印刷・野木印刷所

泉崎中学校校舎新築工事着工

起工式（9/27）

去る九月二十七日、村当局・行政事務所長・教育事務所長・村議会議員・教育委員・地権者・学校その他関係者等約五十名の列席のもと、泉崎中学校校舎新築工事の安全を祈願し、起工式が行なわれました。

式では、海上村長、教育施設研究所企画部北原次長、三井不動産建設㈱中嶋次長による鍬入の儀が行なわれた後、各代表者による玉串奉奠が行なわれた。

式終了後、村長より中学校校舎新築工事に当り、御理解ある御協力を賜わった地権者の方々をはじめ県その他関係機関に対し御礼を述べると共に、当工事の安全と工事完了の暁には、施設・環境両面において県下でもモデルとなるであろうと祝辞が述べられました。最後に本工事を施行する三井不動産建設、三柏工業建設工事共同企業体代表者より謝辞が述べられ閉会しました。

11月号

〈村のうごき〉

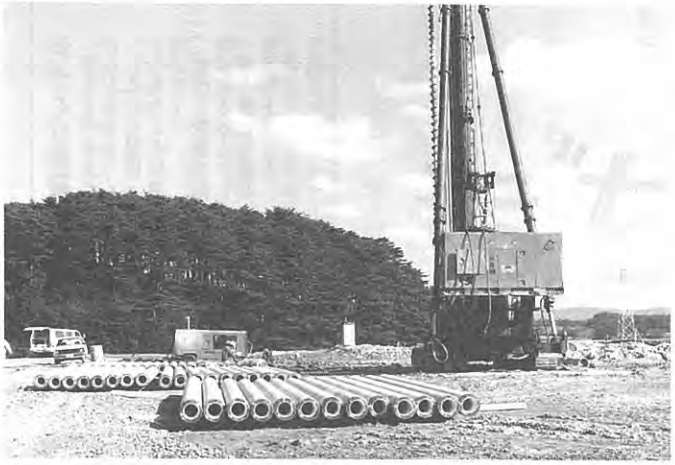
	男	女	合計	世帯数
（今月10月1日現在）	2,953人（＋10）	3,039人（＋9）	5,992人（＋19）	1,299戸（＋1）
（先月9月1日現在）	2,943人	3,030人	5,973人	1,298戸

泉崎中学校校舎 新築工事着工する

六億八百万円

床面積三、七一六㎡

泉崎中学校校舎新築工事は、去る九月十一日指名競争入札により三井不動産建設・三柏工業建設工事共同企業体に六億八百万円で落札し、九月十九日議会の議決を得、九月二十日に本契約を締結しました。



基礎工事：くい打ち

当事業概要は、校舎鉄筋コンクリート造二階建て、床面積三七一六㎡、南面に普通教室棟・北側に特別教室棟を配置しています。

普通教室10室特別教室（理科美術・被服・調理・音楽・技術）多目的教室、その他管理室等を整備。

内装に木を用い温かみのある校舎の建設を考えています。また、屋外環境施設として、屋外ステージ、小川の流れる和風庭園、いこいの広場等幅広い学習活動の可能な施設整備を計画しています。

現在の進捗状況は、礎ともなるくい打工事二二六本の約八割を終了し、同時に根切りに、基礎鉄筋加工が進められ進捗状況約五％です。（十月十五日現在）

県内のモデル校が誕生します（完成予定図）

― 村との交流さらに深まる。 ―

第３回泉崎村友の会総会開催　10/12・東京都「東條会館」

会員相互の親睦と、村との交流をはかる目的で59年10月に結成されたこの会も、今回第３回となりました。出席者90名には、ふるさとみやげとして、はと麦ティーパック贈呈。

躍進するふるさとに話がはずみ開催予定時間を延長する盛況でした。

議会

村税・使用料等滞納にメス

泉崎村議会は九月定例会において昭和六十年度一般会計決算報告で、村税及び使用料等で未納金が多額になっている実態を憂慮し、議長、副議長、そして各常任委員会を代表する四名の議員、計六名による未納金の事情調査を十月二十日に行ないました。調査の内容は、村税、公営住宅使用料、幼稚園保育料、幼稚園バス使用料、保育所負担金、水道使用料でそれぞれに滞納の理由、実態、解消策について詳細に説明を求めました。

その中で各議員からは未納者の放置は税の公平負担の原則を阻害し、さらに使用料等を納入している村民との公平が損なわれるとの観点から今後未納の防止にさらに努力することと、悪質な税・使用料等の滞納者に対する厳しい対処を議会を通し村長に要望することとしました。

税、使用料等の累積滞納額調

(61.10.1現在)
(円)

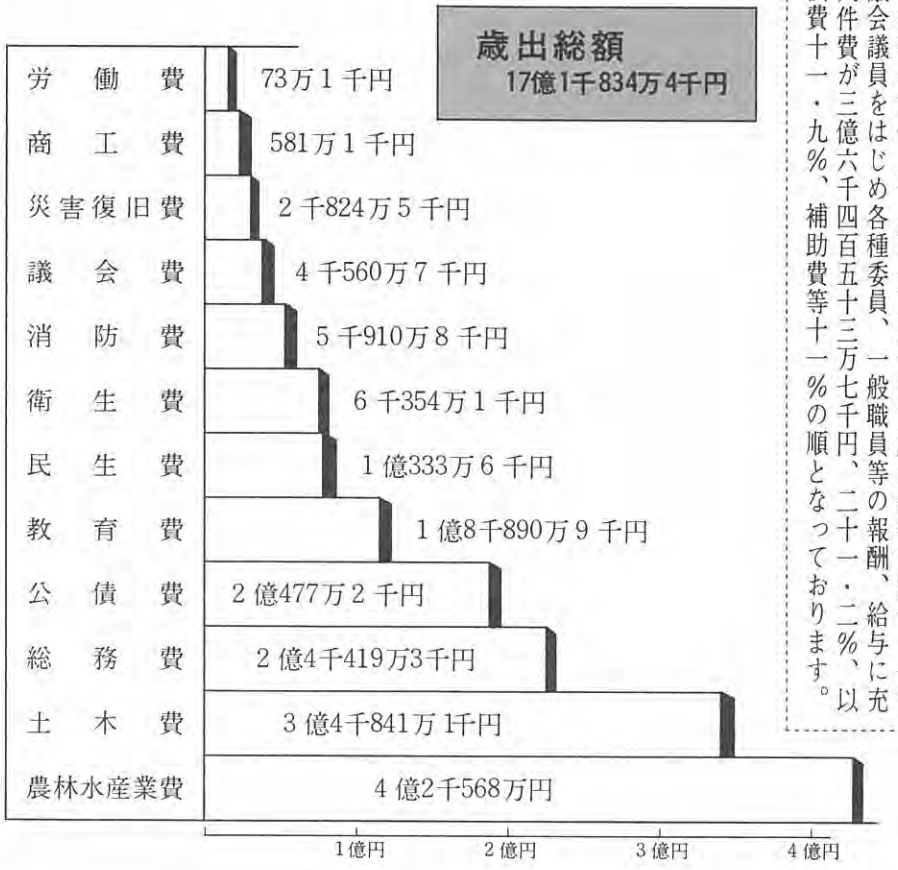
項　目	金　額
村　税	10,770,000
公営住宅使用料	3,773,000
幼稚園保育料	184,000
幼稚園バス使用料	269,200
保育所負担金	428,500
水道使用料	3,133,452
国保税	10,329,000
計	28,887,152

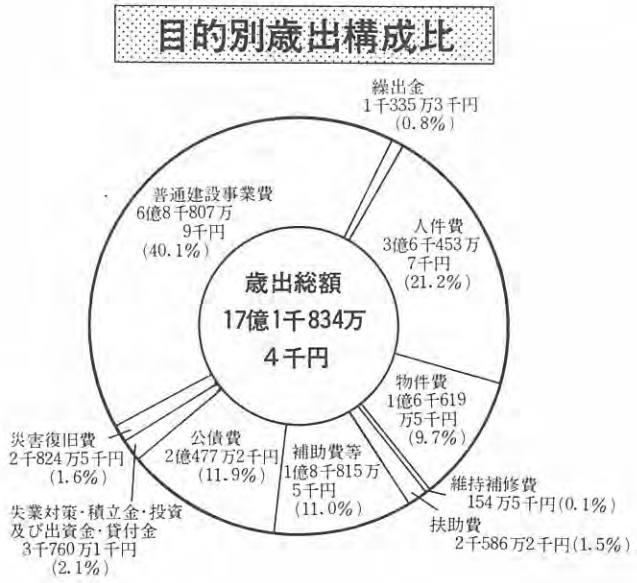
決算報告

整備を最優先

快適な生活環境づくりを目指して

歳出についてまず目的別内訳を見ますと最も多いのが農業振興のために充てられた農林水産業費で四億二千五百六十八万円、歳出総額の二十四・八％、次いで土木費の三億四千八百四十一万一千円、二十・三％、総務費二億四千四百十九万三千円、十四・二％、公債費二億四百七十七万二千円、十一・九％以下教育費、民生費、衛生費、消防費の順となっております。次に性質別に見ますと、カントリーパーク建設事業、農業集落排水事業、農村総合整備モデル事業、農村情報連絡施設事業等の普通建設事業等が六億八千八百七万九千円で歳出総額の四十・一％、次に議会議員をはじめ各種委員、一般職員等の報酬、給与に充てる人件費が三億六千四百五十三万七千円、二十一・二％、以下公債費十一・九％、補助費等十一％の順となっております。





泉崎村財政状況の作成及び公表に関する条例第二条の規定により、昭和六十年度の決算を次により公表いたします。

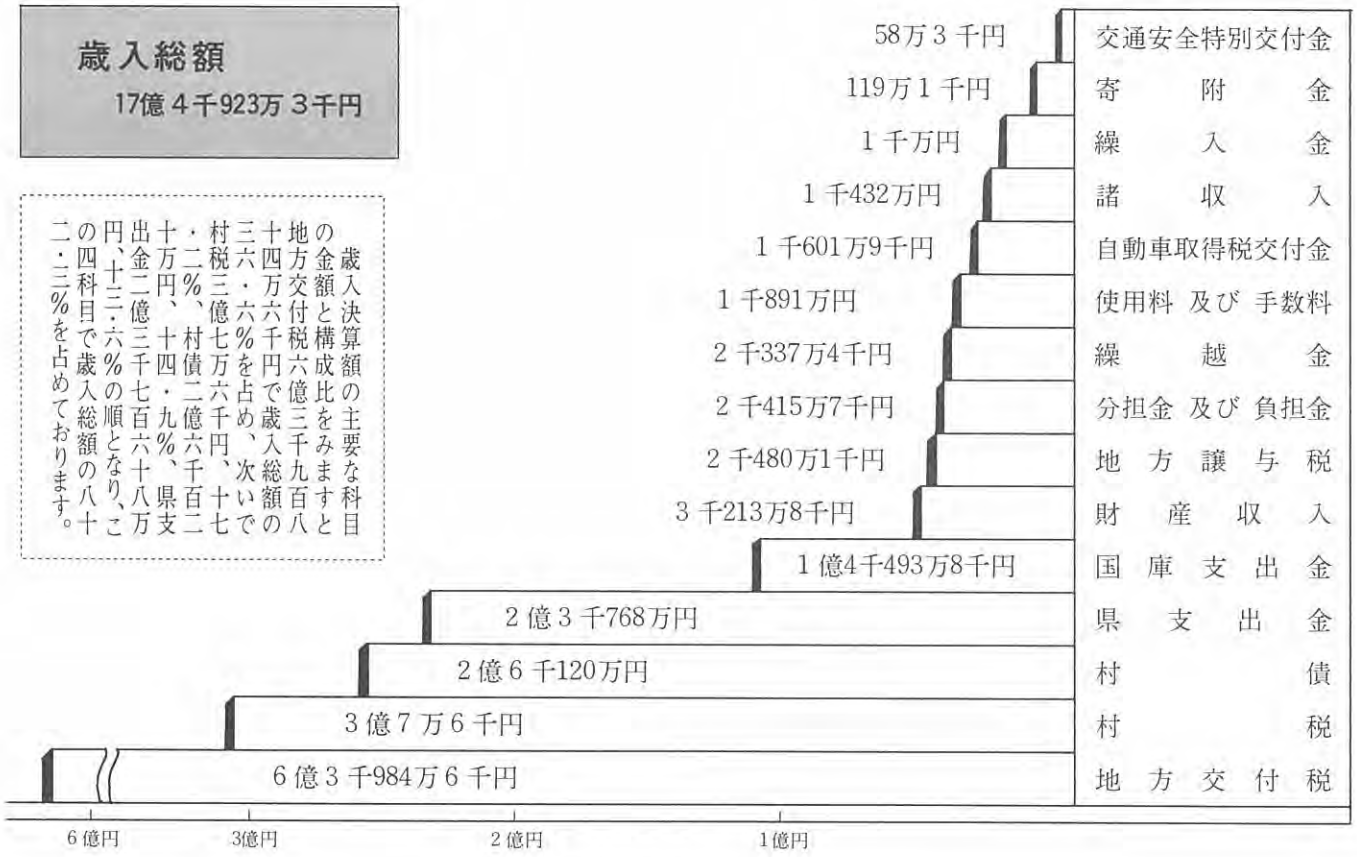
昭和六十年度の決算は国の行政改革による国庫補助の削減投資的予算の縮少により厳しい財政運営となりましたが二十一世紀に向けて快適な生活環境づくりに邁進するため積極的に事業に取りくみ、農業集落排水（下水施設）事業の供用開始、カントリーパーク多目的広場の完成と着実に将来の基盤づくりに前進しています。

昭和60年度 一般会計

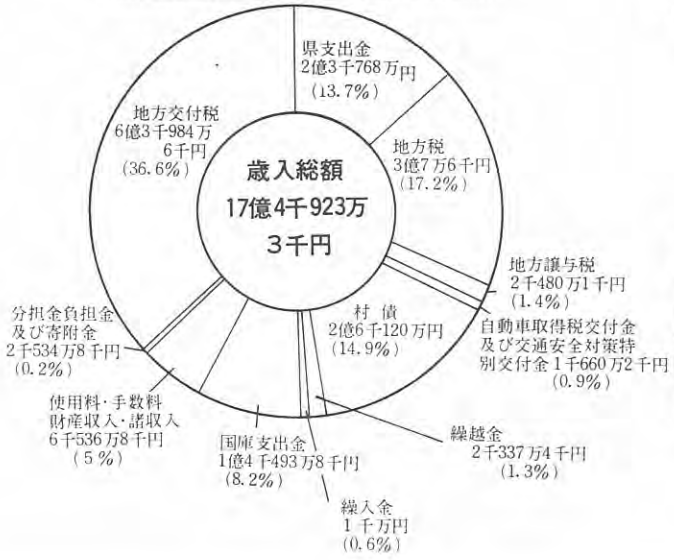
――― 都市型生活環境の

歳入総額
17億4千923万3千円

歳入決算額の主要な科目の金額と構成比をみますと地方交付税六億三千九百八十四万六千円で歳入総額の三六・六%を占め、次いで村税三億七万六千円、十七・二%、村債二億六千百二十万円、十四・九%、県支出金二億三千七百六十八万円、十三・六%の順となり、この四科目で歳入総額の八十二・三%を占めております。

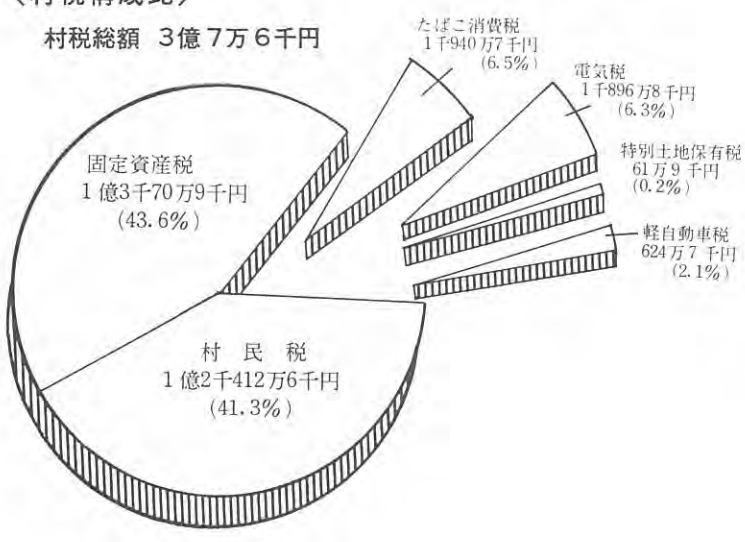


目的別歳入構成比



〈村税構成比〉

村税総額　3億7万6千円



建設事業実績

通信施設の整備促進 ―

（踏瀬地区）
農道整備
（農村総合整備モデル事業）

（桂内地区）
野球場（カントリーパーク事業）

（新六地区）
団体営農道整備事業

林道開設事業（峠線）

（富久保地区）
集落道整備事業
（農村総合整備モデル事業）

昭和60年度

主要事業実績

＝文教・交通・

（単位：千円）

事業名	事業費	事業内容
新農業構造改善事業		○籾乾燥調整施設（ライスセンター）外構工事、構内舗装等 ○農村情報連絡施設整備（同報無線一式） 親局設備、屋外支局15基 ○地域協議会活動推進事業等
県単林道開設事業	8,527	林道峠線改良工事 L＝210m　W＝4.0m
農村総合整備モデル事業	85,850	○農道整備（4路線） （町頭・大山線(舗装) L＝285m 踏瀬・太田川線(改良) L＝420m 根岸・仏工田線(改良) L＝779.7m 根岸線（改良） L＝433.5m） ○農業集落道整備（3路線） （富久保線（舗装） L＝235.8m 瀬知房・下中線(改良・舗装) L＝244m 石名沢線(改良） L＝555.5m）
農業集落排水事業	106,050	管路布設　L＝2,345m 事業進捗率　46%
国土調査事業	13,580	踏瀬地区　3.11 ㎢ 太田川地区　4.84 ㎢ 地籍集成図　8.01 ㎢
道路改良事業	72,000	村道　瀬知房・松倉線(改良) L＝440m　W＝6.0(12.0)m 村道　踏瀬長峯・松倉線 用地取得　3,900㎡
舗装新設改良事業	39,999	○道路改良（4路線） L＝694m　W＝5.5(7.0)m 瀬知房・庭渡神社線・踏瀬町中線・高屋原・踏瀬線、日向山南線 ○道路舗装（2路線） L＝315.0m　W＝2.5～5.5m 踏瀬町中線、八丸線
特定地区公園（カントリーパーク）建設事業	162,067	○多目的広場　A＝30,000㎡ 造成工、スタンド工及び諸競技施設工 ○野球場　A＝30,000㎡ バックネット工、スタンド工 擁壁工 ○サブグランド用地購入 A＝8,503㎡
団体営農道整備事業	27,362	○滝原地区（改良・舗装） L＝520m　W＝3.5(4.5)m ○新六地区（改良・舗装） L＝549m　W＝4.0(5.0)m
公共土木施設災害復旧事業	27,000	河川災害復旧事業（神川） L＝249.5m 積ブロック　A＝922.8㎡
水田利用再編対策推進事業	3,546	ハト麦茶加工処理施設整備 （ティーパック用自動包装機1台 脱皮機1台　精粉機1台 自動計量機1台　真空ガス充填包装機1台）
道路占用復旧工事	14,000	村道　新田・蕪内線(舗装工) L＝1,227.8m
泉崎中学校建設用地取得	47,395	用地取得面積　28,556㎡ （田 2,845㎡　畑 353㎡ 原野 26㎡　山林 25,332㎡）

（滝原地区）

団体営農道整備事業

農村情報連絡施設
（新農業構造改善事業）

（泉崎地区）

下水処理施設
（農業集落排水処理事業）

災害復旧事業（神川）

特別会計の決算

入院患者数　年延　16,839人
（一日平均　46.1人）
外来患者数　年延　29,683人）
（一日平均　101人）

〈業務内容〉

病院事業会計

●収益的収入及び支出　（千円）

収入額	支出額	差引額
470,383	546,477	△76,094

●資本的収入及び支出　（千円）

収入額	支出額	差引額
0	41,849	△41,849

●固定資産明細　（単位：円）

資産の種類	年度当初の現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価償却引当金 当年度増加額	減価償却引当金 当年度減少額	減価償却引当金 累計	年度末償却未済高	備考
土地	55,157,000	15,332,000	0	70,489,000	0	0	0	70,489,000	
建物	376,970,760	10,697,000	0	387,667,760	8,311,941	0	23,151,141	364,516,619	
建物附属設備	46,523,782	0	0	46,523,782	3,308,481	0	16,435,486	30,088,296	
構築物	2,240,745	0	0	2,240,745	70,425	0	290,205	1,950,540	
器機備品	73,778,330	7,163,000	0	80,941,330	9,023,007	0	41,967,301	38,974,029	
車輌	8,014,000	0	0	8,014,000	1,377,000	0	4,581,000	3,433,000	
その他有形固定資産	20,363,216	0	0	20,363,216	0	0	0	20,363,216	
合計	583,047,833	33,192,000	0	616,239,833	22,090,854	0	86,425,133	529,814,700	

水道事業会計

●収益的収入及び支出　（千円）

収入額	支出額	差引額
61,291	48,680	12,611

●資本的収入及び支出　（千円）

収入額	支出額	差引額
26,796	33,335	△ 6,539

〈業務内容〉

事項	昭和60年度	昭和59年度	比較 増減	比較 比率
年度末給水人口	3,477人	3,363人	114人	103.4%
〃 給水戸数	859戸	825戸	34戸	104.1%
年間配水量	309,106㎥	290,026㎥	19,080㎥	106.6%
〃 1月平均配水量	846㎥	794㎥	52㎥	106.5%
〃 給水量	263,260㎥	260,674㎥	2,586㎥	101.0%
〃 1月平均給水量	721㎥	714㎥	7㎥	101.0%
〃 有収率	85.2%	89.8%	△4.6%	94.9%

●固定資産明細　（円）

資産の種類	年度当初の現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価償却累計額 当年度増加額	減価償却累計額 当年度減少額	減価償却累計額 累計	年度末償却未済高	備考
土地	2,876,377	0	0	2,876,377	0	0	0	2,876,377	
建物	4,044,154	0	0	4,044,154	100,493	0	301,479	3,742,675	
構築物	187,191,868	37,171,000	0	224,362,868	8,215,099	54,000	19,878,897	204,483,971	
機械及び装置	16,800,873	1,096,350	400,795	17,496,428	2,206,882	200,986	7,015,947	10,480,481	
工器具及び備品	39,500	0	0	39,500	1,975	0	39,500	0	
合計	210,952,772	38,267,350	400,795	248,819,327	10,524,449	254,986	27,235,823	221,583,504	

国民健康保険特別会計

（千円）

収入額	支出額	差引額
394,192	373,520	20,672

○老人保健特別会計　（千円）

収入額	支出額	差引額
258,267	253,038	5,229

宅地造成事業特別会計　（千円）

収入額	支出額	差引額
853,497	847,478	6,019

工場用地造成事業特別会計　（千円）

収入額	支出額	差引額
152,818	113,820	38,998

歯科診療特別会計　（千円）

収入額	支出額	差引額
29,461	29,461	0

○農業集落排水事業特別会計　（千円）

収入額	支出額	差引額
638	630	8

●保険給付の内容（国民健康保険特別会計）　（千円）

事業内容	件数	費用額	事業費
療養給付	15,484	281,088	199,058
療養費	232	2,252	1,582
高額療養費	333		24,533
助産費	16		1,600
葬祭費	42		630

基金　（千円）

種類	区分	決算年度末現在高
財政調整基金	現金	63,805
交通遺児奨学基金	現金	1,372
土地開発基金	現金	4,864
	土地	27,618

村の財産の状況　（㎡）

区分	土地	建物
役場	1,616	783
警察（消防）施設	823	377
学校	72,143	9,897
公営住宅	7,377	2,464
その他の施設	66,162	7,557
山林	672,900	
公園	131,417	
計	952,438	21,078

祝 家庭バレーボール 県大会で優勝

選手のみなさん、おめでとう!!

去る九月二十一日(日)、二本松市文化センターにおいて第三十九回県総合体育大会県民スポーツ家庭バレーボール県大会が開催され、県南地区代表として泉崎村家庭バレーボールチームが三度目の出場、昨年に続き二連覇の偉業を成し遂げました。

県内八地区の代表チームが出場し一回戦南会津代表南郷チームを2対0、二回戦県中地区代表さいこんチームを2対0で破り、続いて行なわれた決勝戦では県北地区代表二本松南小チームを激戦の末2対1で下しました。

練習には小林清一郎、吉田洋子両コーチ並びに関和久チームに御協力頂き感謝申し上げます。

出場メンバーは次のとおりです。

小島セト子・海上　泰子
中畑ユキ子・中畑紀代子
松本　イク・溝口　秋子
中野目マリ子・小林清子
小室美智子・高崎　敏子
大森　美子・秋山千代子

祝 (株)朝日ラバー 落成式

去る九月二十七日、村改善センターにおいて㈱朝日ラバー福島工場（伊藤巌代表取締役、本社・埼玉県川口市）の落成式が行なわれました。同社は資本金四千万円、従業員百五十人で工業用ゴム製品メーカーで年商は十五億円。福島工場では三億円で従業員現在三十八人（将来百人の予定）です。

落成式場一ぱいに生花が飾られ、参列者二百五十人と大変盛会でした。

当会社が地域振興の核となり限りなく躍進することを期待します。

落　成　式

祝 入賞・表彰

支部対抗交通安全コンクール

昭和六十一年度交通安全コンクールの結果は十月三日審査委員会を開催して厳正な審査を致しました結果次の支部が入賞致しました。

優勝　高根支部
2位　峠　支　部
3位　関和久支部

また、交通安全推進優良事業所として、次の事業所が選ばれました。

松竹無線㈱福島工場

交通安全活動に尽力された次の方々に表彰状を贈りました。

踏瀬支部長　白石　四郎
高根支部長　野崎二士也
宿舘支部長　秋山　好男
北平山支部長　菊地利夫
交通安全パトロール隊員
遠藤　秀光
後藤　清美

多年にわたり、本村の交通安全思想の普及と交通安全の確保に尽力された交通指導員に対して感謝状を贈りました。

交通指導員　大木　吉三
交通指導員　佐川　忠
交通指導員　菊地　吉一

鏡石町で発生した、旅館荒らしの検挙に協力された消防団員に対して感謝状を贈りました。

消防団員　久保木　光
消防団員　小林　高弘

フォト

第31回村民体育祭

十月十日体育の日に行われた第31回村民体育祭は、曇り空ながら暑からず寒からずの天候に恵まれて村民総参加で行われました。

各支部の選手団は二千六百十名、保・幼・小・中の子どもの参加が千六十五名、職員団体、消防団、青年会からの選手が二百十名、老人会の参加が百余名、約四千人が各種の競技に参加し、更に自衛隊郡山駐屯部隊の音楽隊と第一大隊による銃剣道の模範演技が花を添え、誠に明るく楽しい体育祭でした。

スタンドに村民の観覧席を設け、その前近くで演技や競技をしたことは大変好評でした。

優勝旗は北平山支部が獲得しました。

千人が参加してる笑顔～

▲白バイを先導に聖火入場

◀開会式で初の名誉村民渡辺酉蔵氏に推たい状が交付されました。

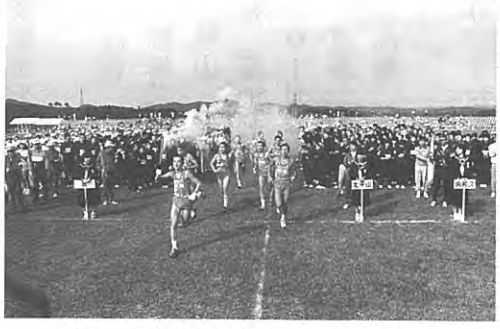
◀夫婦なかよく……

▲自衛隊のみなさんの演技

◀私達 必死デス!!

▲70年国体に出られるかな？

▲おとさないでネ!!



▲聖火入場：泉崎中学校マラソン選手のみなさん

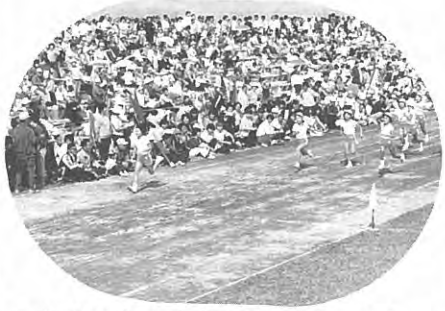
に選手をおくろう！

みんなの体育祭四
～流れる汗に広が

▲ザンネン……
ころんでしまいました

▲渡部恒三さんと一緒に

▲幼稚園児の見事な演奏



▲大せいえんをうけて 走れ 走れ……

▲早く 早く!!

▲ヨーシ、ガンバルわよ!

▲お母さん方のダンス

▲なかなか入らないんです

▲おさないで
おさないで……

▲ウ～ン!! 力がはいる

70年 福島国体

泉崎二小

無事故七三三日 交通安全鼓笛パレード

去る九月二十七日(土)、交通安全を祈願して鼓笛パレードが行われました。パレードに先がけ開会式が行われ、村交対協会長(村長)より訓示があり、児童代表木野内理君にあわせて全員が誓いのことばを唱和して事故をおこさないことを誓いあいました。

また、学校長より「交通事故０が七三三日続いています。千日、二千日とこの記録を延ばせるように」と話がありました。

交通安全鼓笛パレード

パレードは上町を経て瀬知房まで、村交通安全協会はじめ関係機関の協力のもとに、六年高久厚子さんの指揮、バトンクラブ員が先導、三年生以上一四六名が元気にパレードを行いました。

幼稚園

秋の大運動会

子ども達の純心無垢な気持が、天にも通じ、素晴らしい秋晴れの下、一大セレモニーである運動会が、盛会のうちに終了致しました。

花火の合い図による入場行進に続き、「夢のハネムーン」や、「リボン体操」、更には「つなひき」や「リレー」にと、年少児のほほえましい演技と、年長児の頼もしい演技が、熱心な声援のシュプレヒコールに、見事に調和し、終始、楽しさの中に進みました。

ガンバッテ１着：運動会

子ども達は、自分の役割を果たし得た貴重な体験を契機として、知的な高まりのもとに、一段と成長してくれるものと思います。

保育所

楽しかったネいもほり

10月15日、岩瀬農業高校においていもほりが行なわれました。澄みきった青空のもとで長靴をはいたチビッコ達が、いもほりに挑戦！カメラにとらえた子供達の表情は、大変生き生きとし輝いていました。中には、鬼の金棒のようなおいも、ごぼうのようにに細長いおいも様々なおいもを手にし「自分でほったんだ」という満足感にみちていたようです。実際土に触れおいもをほるという事は子供達にとっても、大変貴重な体験でもあり又良い思い出となったのではないでしょうか。お家に帰ってからも、おいもほりの話題でいっぱいだったことと思います。

ボクがほったいも…

公開保育

去る十月十四日、白河地区保育研究会保母部会「公開保育」の会場指定となり、他保育所職員約二十名が見学する中で実施されました。職員を初め子供達もいつもの保育とは、少々異なりちょっぴり緊張した雰囲気の中で始まりました。保育の主題として「おそうじの日」とし、ねらいを協力してひとつの活動に取り組む。二点目は、きれいになった喜びを味わう、とし日常生活の中で「おそうじの日」をテーマに二・三才児の活動ぶりを重点に行なわれました。子供達も手にした雑巾が、まっ黒に汚れるまで頑張りきれいになったお部屋に満足顔でいっぱいでした。

運動会

去る九月二十日に行なわれた運動会は、くもり空、雨がポツポツとちょっと心配しましたが、途中から晴れ間がみえ、どうにか最後まで行なうことができました。一才児の宝拾いから始まり、つなひき、すずわりもぐら叩き、お遊戯など大活躍でした。最後に所長よりメダルが贈られ、とても満足そうな子どもたちでした。

つなひき・運動会

家庭教育ワンポイントアドバイス

空気の教育

小学校の教室は、建築上の構造からいえば、どの教室も全く同じであるが、それぞれの教室の空気は、随分ちがう。級風があるのである。

この級風という空気が、子どもに及ぼす影響力、感化力は口先だけの教育の比ではない。

空気が物言うのは学校だけではない。

家庭の空気は、ほとんど子どもの性格形成にさえ影響する程である。

校風、級風それに家風という目に見えない、生活の場の空気、その空気が子どもに及ぼす作用を、「空気の教育」という。

この空気は、形式×くり返し×時間という式によって、作られるように思う。

形式のうちで最も強く働くのは「ことば」である。

朝の食卓に就くとき、家族が互に「おはようございます」と言い合う、これが毎朝、繰り返されて、長い間続くと、これが空気、つまり家風をつくるのである。

家風は習慣であり、しきたりである。つまり、文化である。この文化をつくることを忘れていて、家庭教育はないと思う。

社会教育指導員
河越良平

かわいい笑顔

生涯教育

昭和六十年の国勢調査によると福島県の六十五才以上の人口は一一・八%で、全国平均一〇・一%をはるかに越えて高齢化社会が進んでいることがわかる。

八十五才を越えている人が一万八千人もいる。

そこで老後を豊かに送るために年寄りの一人一人が生きがいのある充実した生活を送る工夫をしなければならない。自分の手で生きがいを創造することについて学習することが何よりも大切である。

「豊かな老後をみんなの力で」、一人よりは二人がいい。二人よりは三人、四人がいい。みんなで力を合わせてお互いに交流し、若い世代との交流や交歓も考えたい。

一人で趣味を豊かにして楽しむことも大切である。

八十五才を過ぎてなお毎日筆を執って字を習い、菊づくりを楽しみ、ペンクラブの会員として川柳や俳句を学んでいる人もいる。

生きているうちは何かを学習して心を豊かにする。

それが生涯学習である。

中央公民館長
円谷泰秋

「ことぶき」第2号発刊予定

進んでご投稿を！

本年も昨年にひき続いて「ことぶき第二号」を、明年三月に刊行することになりました。その概要は、次のとおりです。多数の方々の投稿をお待ちしております。

一、内容
　文芸　川柳　俳句
　里謡　短歌　随筆　小品文　詩　詩文　書等
二、原稿締切り
　各老人クラブ会長より原稿用紙を受けとり、十二月二十日までに、各老人クラブ会長の許へ提出してください。字数の制限はありません。
三、発刊　三月上旬予定
四、参考資料
　老人クラブ連合会二十周年記念誌「ことぶき」を御参照願います。

以上ですが、不明な点は、中央公民館へお問い合わせください。
（☎53－2258）

歳時記　落葉

〝垣根の垣根の曲がり角、たき火だたき火だ落葉たき、あたろうかあたろうよ、北風ピープー吹いている…〟

落葉というと、幼い頃に口ずさんだこんな歌を思いだす方もいると思います。

もっと古いところでは、紅葉をたいて酒をあたためる、という風習もあります。

細長い日本列島のことゆえ、もうとっくに紅葉が終わって、葉が散ってしまったところもあれば、まだ紅葉が始まらないところもあると思いますが、いずれにしても、落葉はもののあわれを感じさせます。

葉タバコ黄斑えそ病

（ジャガイモＹウイルスえそ病によるタバコ黄斑えそ病）

発生が心配された「葉タバコ黄斑えそ病」が本村でも大発生してその被害は大きいものがあります。

葉タバコ耕作者はこの病気による減収、品質低下とこれからの対応に頭を痛めています。

一日も早い適切な対策を講じる必要があります。

本村での葉タバコの粗生産額は約三億五千万円で米畜産に次ぐ収入源になっていますので農業経営に大きな支障を来すことになります。

この病気はジャガイモが伝染源になりますので葉タバコ耕作者だけでは解決出来ませんのでジャガイモ栽培者の協力を得なければなりません。地域の中で十分話し合いをして解決しなければなりません。

このウイルス病は昭和四十五年頃香川県小豆島で黄色種葉タバコに発生しその後五十二年頃までに香川県全域愛媛県東部および岡山県南部にも広がり葉タバコにかなりの被害をもたらしたきわめて激しい症状を示すために収穫皆無となり廃作に追い込まれた例もあります。

本村でも昭和五十七年頃から発生していますので今後十分な注意が必要です。

◈伝染経路

この病気の伝染源は主にジャガイモでこの保毒ジャガイモの茎葉を吸汁したアブラムシ特に翅（はね）のある有翅（ゆうし）アブラムシ（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ）などが吸汁後次々とタバコに病気を伝搬します。

本病発生畑の状況を見てもとくに生育の落ち込んでいるジャガイモ畑（ウイルスに侵されたジャガイモ）に隣接したタバコ畑にその被害が多く見られます。

◈防除対策

これらの対策について協議するため十月七日に関係各機関、団体、耕作者代表の会議をもちまして具体的な対応について話し合いをしましたのでその結果について報告いたします。

一、タバコ畑、ジャガイモ畑、を離す。（タバコ、ジャガイモそれぞれの団地化の推進）

二、ジャガイモはウイルス検定済で無病なものを用いる（種いも更新の徹底）

三、掘り残しいも、放置いもの除去（ジャガイモ農家への協力呼びかけ）

四、アブラムシの飛来防止（障壁作物、防虫ネット等の積極的導入）

五、アブラムシの発生予察と防除の徹底（地区内総合防除体制の確立と徹底した防除の実施）

六、タバコ罹病株の早期発見と除去（発生地域内で病害についてよく理解する）

以上のような防除対策によって本村の「タバコ黄斑えそ病」の発生を未然に防止したいと思いますので地域それぞれに話し合いを重ねられ、地域の特徴を生かした防除対策を構じられるようお願いいたします。

視察団相つぎ来村

◈モミ乾燥施設つぶさに

米どころ会津河東町の堂島農協の鈴木俊彦組合長ら十五人は十三日午後本村の川崎モミ乾燥調整施設（川崎地区ライスセンター）を視察のため来村されました。

担当者からの機械の操作能力等について説明を受け、また海上村長からは「特に村づくり構想の中での農業の位置づけ十年二十年先を見越した農業の展望、それに見合った設備づくりが必要である」という説明を受けました。鈴木組合長は「設備稼働能力を中心に見たが大変参考になった」とつぎの視察に向かいました。

◈トマトの産地から完熟トマトモモ太郎視察

南会津郡南郷村トマト生産組合員一二〇名が大型バス一台マイクロバス四台で農業改良普及所加藤所長等の引率で「完熟トマトモモ太郎」の栽培状況を視察のため来村されました。

南郷村と言えば奥会津の山村、夏秋トマトの産地としてメキメキ名声を高め特に品質については京浜地方の各市場からは、日本一の評価を得ている産地で村あげてトマトに取り組んでいる大産地です。

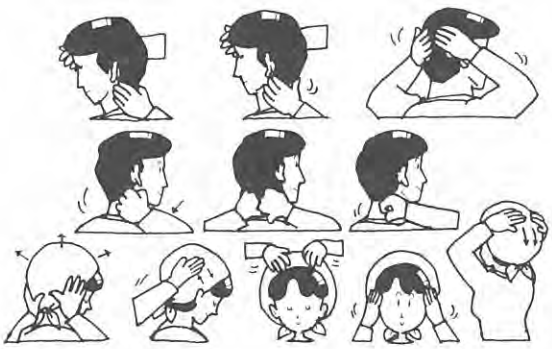
当日は栽培者である大野孝さん、引地宗男さん、草野太郎さん等から圃場を見ながら品種の特徴、栽培技術についての説明がありその後質問に入りましたが時間を延長して活発な質疑応答が行なわれました。目を輝やかして勉強の態度には産地づくり、産地の維持発展にかける意気込みには圧倒され敬福するのみでした。産地を守もるためには死にものぐるいの努力が必要です。

泉崎村の「完熟トマト、モモ太郎」も一部の栽培者だけでなく村をあげて本村の名産として確立するため取り組んでいかなくてならないと思います。

家庭マッサージのコツ

◉頭が疲れたとき

①頭の骨の両側を親指および四指で下から上、上から下へともんでいきます。
②片手をひたいに当て、左右交互に、くびの骨の両側を親指でもむ。
③片手をひたいにあて、左右交互にくびの骨の両側を四指でもむ
④頭のつけ根を親指で圧迫する。
⑤両手の親指に力を入れ、頭を支えるように圧迫
⑥手を軽く開くか軽く握って、くび全体をたたく
⑦両手の手のひらをひたいの上にあて、そのままうしろに擦り下ろす。
⑧このとき手ぬぐいかネットをかぶるとよい。
⑨指を開いて、また手のひらで頭を前からうしろへもむ。
⑩こめかみに両方の手のひらをあてて、回すようにもむ。
⑪自分の指先をこめかみにあてて、程よく力を入れ押しながら輪をかくようにもむ。
⑫両手でピアノの鍵をたたくように、頭頂部を軽くたたく。
⑬手刀で頭頂部を左右交互に軽くたたく。
⑭親指を後頭部にあてがい両手で頭をささえるようにして、左右に頭を運動させ、次に頭全体をさすって終わる。



肩のこり、疲れたとき

⑮肩先から首すじに向かって、よくさすり、のちに四指の先に力を入れ全体をよくもむ。
⑯うつ伏せに寝かせ、ひたいに手のひらをあて、枕がわりにさせる。寝た人の上に軽く馬乗りになって、手のひらを指先を使って背骨の両側から外側へと肩を丸くくるむようにさする。
⑰姿勢は前と同じ、手のひらと指先で肩をつかむようにもみ、次に両手の指先を交互に使って、くびの骨の両側をもみ、頭のつけ根を圧迫したり軽くたたく。

腰の痛み、疲れたとき

⑱腰の場合はうつ伏せにさせる姿勢と、足を前に投げ出し、すわった姿勢の二通りありますが、どちらでもやりやすい方法で行う。背骨のところから腰部全体をくるむように手のひらを使ってさする
⑲手のひらと指先で腰全体をもみ、さらに両手の親指で腰椎の両側をもむ。

税を知りましょう

税を知る週間

11月11日(火)から17日(月)までは「税を知る週間」です。

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、幅広い活動を行っています。

税金は、このような活動のための大切な財源です。

税務署等では、この期間中「この社会あなたの税が生きている」をメーンテーマに、広く国民の皆さんに税の意義や役割を正しく理解していただけるよう、各種行事を行います。

○臨時税務相談所の開設
11月12・13日
10時から16時
白河商工会議所

○優良青申者・優良申告法人に対する表敬状の贈呈式並びに懇談会
11月13日　白河税務署

○納税表彰式並びに納税貯蓄組合法施行35周年記念感謝状贈呈式
11月14日　白河税務署

○「税を知る週間」街頭キャンペーン並びに広報パレード
11月11日　白河市及び西白河郡管内町村

年末調整

12月は、サラリーマンが毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税額と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算する年末調整の月です。

扶養親族に異動のあった人や各種保険料の控除を受けようとする人などは、勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。

随想

村民体育祭に思う

秋、大事な時なのに雨足が近く、十月五日の村民体育祭は十月十日の体育の日に延びた。取入れ農作業のピークと重なることで心配したが、天気はまずまず。村民の皆さんの集りは時間とともに出足をふやし昼近くには四〇〇〇人を超す盛況となった。

三十一回を迎えた村民体育祭は戦後間もなくの頃は青年会の呼びかけ中心の運動会であった。これが回を重ねるとともに内容・方法的にも充実し今では村づくりの主要行事として欠かせないものに成長した。

村の成長とともにこの体育祭の充実があり、体育祭の組織的充実と村の発展があったことを思うと感慨ひとしおである。

今年は北平山チームが優勝を飾った。優勝を目指し地域が一体となって一人一人が必死に競技に打ち込んだ成果だ。

体育祭は地域が一つにかたまり、地域のふれあいの絶好の場だ。共に沸き、共に沈む、応援者も競技者も一つの心がつくる見事な観戦の場面は正に皆んなでするスポーツが描き出す「協力」以外の何ものでもない。つまりこれが地域づくりそして村づくりだ。

最近は誘致企業チームが参加し一そう色彩豊かなものになっている。それ自体村の動きを示すものであるが泉崎村の新しい社会源を体育祭を通して知ることができて喜びは大きい。

新装なった総合運動場での大会は二回目であるが、広さとプレー展開は昨年の反省を生かして、観戦と応援に重点をおいたものであったが、場所的なもち方は如何であったろうか。村民の皆さんのご意見をいただきたいと思うところである。

スポーツは体力をつくる。語らいを、友をつくり、喜びをつくる。スポーツの役割ははかり知れない。年間を通して、グループ毎に目標と意欲をもつスポーツが村いっぱいに広がり花咲いている姿はすばらしい。「伸ばそう体力」「つくろう健康」「深めよう心の輪」がさかんになることを祈りたい。

泉崎村の建設のめあてのスローガンに『スポーツ農住都市泉崎』というのがある。これは正にスポーツにかける村づくりの姿を端的に表現したものである。この営みを続けることは「うるわしいわが村」をつくる共通の願いでもある。『泉崎』『泉の湧く先端の地』としての希望をかかげ村民みんなで進みゆけるこの名前が私は無限に好きだ。そこはかとなく暖かい人々が住むこの泉崎の地にスポーツを愛して村をつくる情熱がいつまでも村民の心の中で生き続けてもらいたいと思う。

泉崎村長　海上博之

たき火による火災を防ごう

約二十五億円(年間)が灰に

落葉の季節には、あちこちでたき火の風景が見られます。

木枯らしにかじかんだ両手を炎にかざせば、からだもホッカホカ。しかしこのたき火が、思いがけない大きな火災を引き起こしています。

▼昭和五十九年の調査によると、たき火が原因で発生した火災は七千七百十三件で、前年にくらべ四〇・五%の増加。これは総出火件数(六万三千七百八十九件)の一二・一%を占めます。

身近なたき火での不注意で、なんと年間約二十五億円が灰になっているのです。

発生原因をみてみると、やはりたき火の延焼拡大によるものがいちばん多く、ついで火の粉の飛火となっています。

たき火で火事などを出さないために、防火に対する認識をもういちどチェックしてください。

●火災警報や異常乾燥注意報が発令されているときや風の強い日には、たき火をしないこと。

●周囲に燃えやすい物があったり、たき火が禁止されている場所では絶対にしないこと。

●子供はたき火に興味をもつものですが、子供だけでやるたき火は絶対にさせないこと。

●たき火をしている最中は火のそばを離れないこと。そして水バケツ、消火器などを用意すること。

●消火のときは、完全に火が消えたかどうか、念入りに確認すること。

ちょっとした心がけを怠ったことが、とりかえしのつかない火災につながります。〝火の用心〟を確かめあいましょう。

ご存知ですか 国民年金

20歳以上60歳未満の人は、原則としてすべて国民年金に加入。

国民年金加入者（被保険者）は、3種類に分かれます。

国民年金に必ず加入しなければならない人（強制加入者）は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の人ですが、給付の内容などの違いにより、下記の3種類に分かれます。

第1号被保険者

第2号被保険者

第3号被保険者

希望で加入する人
（任意加入者）

①60歳以上65歳未満の人で、老齢基礎年金の受給資格期間を満たすことができない人や、年金額を増やしたい人。
②20歳以上65歳未満の日本国民で、日本国内に住所のない人。
③20歳以上60歳未満の学生。
④被用者年金（厚生年金など）の老齢（退職）年金の受給権者で65歳未満の人。

お知らせ

お年玉つき年賀はがき
十一月五日発売

毎年ご好評をいただいているお年玉つき年賀はがきを、今年も十一月五日（水）から発売します。

発売枚数は、全国で三二億八千万枚、このうち、裏面に新年にふさわしい絵柄がカラー印刷されている四十五円のものが二億四千万枚となっております。

当泉崎村には、泉崎、関平両郵便局合せて四十円が七万二千枚、四十五円が四千四百枚と昨年並の枚数となっております。

絵入り年賀はがきの裏面の絵柄は、全国版が「寒牡丹」、「うさぎと梅」の二種類、東北版が「かまくら祭」の一種類となっており、各郵便局の窓口では、昨年同様三種類の絵入り年賀はがきを発売することになります。

また、お年玉はがきにつけられた寄附金は、がんの研究、治療のための機器の整備やお年寄りのための施設等に役立てられています。

今年も、心のこもった美しく、楽しい年賀状で、新年のごあいさつと社会福祉の増進等へのご協力をお願いいたします。

泉崎郵便局
関平郵便局

!!愛の献血ありがとうございました!!

去る10月16日本年度第二回移動献血が行なわれ多数の献血がありました。

献血者数　計一〇六人
男　六六人
女　四〇人

このうち四〇〇CCの献血の方が一一名ありました。

尚、第三回目の献血は62年二月一七日となっておりますので村民の皆様のあたたかい御協力をお待ちしております。

昭和六一年度 秋季畜犬登録及び 狂犬病予防注射

犬を飼う場合は登録と狂犬病予防注射を行なわなければなりません。

今年の四月に行なわなかった方、新たに飼った方は登録と注射を必らず実施して下さい。

◎実施日　11月7日(金)

場所・時間については無線放送、チラシを参照してください。

今月の行事

—中央公民館—

1日(土) 文化祭総合展示会の出品、陳列
2日(日) 文化祭総合展示会 健康マラソン
3日(月) 文化祭総合展示会
4日(火) 民謡教室(毎週(火))
5日(水) 子ども文庫(毎週)
6日(木) 英語教室、英会話教室、青年教室（毎週(木)）
8日(土) 小中学校陸上競技大会
14日(金) おおぞら号東地区巡回
15日(土) ゆずりは学校
16日(日) 文化祭囲碁、将棋大会、婦人学級村外研修
16日(日) 芸能発表会
19日(水) 書道例会
22日(土) 文化祭文芸のつどい
22日(土) 文芸のつどい
25日(火) 生花教室
27日(木) おおぞら号西地区巡回
28日(金) 高砂学級、明日の親学級

—保育所—

1日(土) 奉仕作業　午前五時五十分より
5日(水)・19日(水) おべんとうの日
6日(木)～20日(木) 個人面接
7日(金) 内科検診
13日(木) 避難訓練
17日(月) おそうじの日
20日(木) 安全点検日、職員会議（午後六時～）
23日(日) もちつき大会
25日(火) もちつき代休
27日(木) 誕生会
27日(木)～29日(土) 身体測定
29日(土) 誕生会

—幼稚園—

12日(水)～14日(金) 身体測定
15日(土) 園内美化の日
18日(火) 第五回家庭教育学級
22日(土) 避難訓練
26日(水) 幼年消防クラブ村内防火パレード

—泉崎一小—

6日(木) 西白河地区小中学校音楽祭（4年生出場）
13日(木) 校内学習発表会
16日(日) 学習発表会
17日(月) 繰替休日
18日(火)～20日(木) 身体測定
20日(木)～24日(月) 郡市小中学校書写・造形展（白河二小体育館）

—泉崎二小—

5日(水) 校内マラソン大会
6日(木) 西白河小中学校音楽祭
8日(土) 村内小中学校陸上競技大会
11日(火) わら細工の日
13日(木) インフルエンザ予防接種
15日(土) 避難訓練
18日・19日(水) 緑化活動

—中学校—

6日(木) 西白小中学校音楽祭
8日(土) 校内駅伝競走大会
11日(火) パメラ先生来校
13日(木) インフルエンザ予防接種
23日(日) 校内文化祭
25日(火) 校内文化祭代替休日
29日(土)・12月1日(月)・2日(火) 期末テスト

おいわい おめでた おくやみ

□結婚おめでとうございます。

新郎・新婦　住所
橋本　修　太田川字小林
　玲子　四番地
小林　正洋　太田川字居平
　郁子　十五番地

□出産おめでとうございます。

お子様名　父名
北平山字観音山三十六番地
熊田　哲也　宏一
太田川字居平五十七番地
久保木美穂　光
泉崎字外ノ入十四番地
穂積　祐輔　一身
踏瀬字長峯五十七番地
渡邊　誉　巌
泉崎字古宿三十四番地
佐藤　邦弘　則雄
北平山字堂ノ下三十一番地
菊地　知子　正
踏瀬字大山五十二番地
箭内　沙耶香　一美

■謹しんでお悔み申し上げます。

関和久字瀬知房後五九番六
會田　イチ　六十八才
泉崎字小林七十二番地
荒井　武　七十九才
関和久字十郎兵衛九番地四
鈴木　市太郎　七十一才

〈納　税〉

- 固定資産税第３期分の納期は12月１日まで
- 所得税の予定納税第２期分の納期は12月１日まで